



ポスターが隠されていた土蔵の天井の梁(はり)



ポスターを収集した原弘平氏(左)

戦争になると、何がどう変わるのだろう……。平和な時代が70年以上続く日本では、多くの国民にとって戦争は縁遠い存在です。
国家の統制下にあった戦時の暮らしがどんなものだったか。それを知る高齢者は減る一方ですが、往時を伝える貴重なポスター類が長野県の阿智村に残っていました。

★
能古博物館はその一部約30枚を企画展『隠されていたプロパガンダ(宣伝)ポスター』〜日中・太平洋戦争時の国策映す135枚〜として、8月初旬から10月末までの間、三部に分けて公開します。ご来館をお待ちします。

企画展『隠されていた プロパガンダ(宣伝)ポスター』 〜日中・太平洋戦争時の国策映す135枚〜

◇会期◇

〈第1ステージ〉 8月4日(金)〜27日(日)の
金、土、日。
〈第2ステージ〉 9月1日(金)〜24日(日)の
金、土、日及び祭日。
〈第3ステージ〉 10月1日(日)〜31日(火)の
全日(休館日なし)。

◇会場◇

能古博物館(企画展の主会場は別館1階です)

◇入館料◇

大人400円、高校生以下と身障者は無料、団体はご相談下さい。

★
それは約50年間、長野県阿智村(旧会地村)の元村長自宅土蔵に隠されていた。国策宣伝用に作られたプロパガンダ(宣伝)ポスター135枚。政府、軍部とその外郭団体が挙国一致の戦時態勢を築くため制作・配布した膨大なポスターの一部で、同時期に村長の任にあった原弘平氏(1891〜1950年)が収集、保管。敗戦後は焼却命令を無視して油紙に包み、自宅土蔵の天井の梁の裏に隠していた。陽の目をみたくは平成になってから。1995(平成7)年、弘平氏の遺志を受け継いだ孫(三男の子息)が公開に踏み切り、初めて阿智村編纂の平和記念誌(1997年刊)にその一部が掲載された。

お礼

今号掲載の記事、写真及び展示企画では、各方面のご協力をいただきました。特に長野県及び同県阿智村役場、並びに同村の一般社団法人「満蒙開拓平和記念館」に深謝いたします。また記事やこのページの2枚を含む写真の多くを田島奈都子氏(青梅市立美術館学芸員)編著の『プロパガンダポスターにみる日本の戦争』135枚が映し出す「真実」(勉誠出版・2016年7月初版)に準拠しました。お許し下さった田島氏と勉誠出版に厚く御礼申し上げます。
能古博物館

国債の購入促進

支那事变国債
~此の一弾此の一枚!~



1941年(大蔵省、通信省)

傷病軍人への感謝

名誉の負傷に変わらぬ感謝
銃後後援強化週間



1938年(傷兵保護院、国民精神総動員中央連盟)

兵士の募集

海軍甲種飛行予科練習生募集



1942年(海軍省)

通称「予科練」。18歳以上で身長157センチ、体重49キロ、胸囲79センチ、視力左右とも1.2、片手懸垂5秒以上が条件とされた。学歴は不問だが、実際は旧制中学三年生修了程度の学科試験が課され、合格できるのは文武に優れた者だった。1942年当時は海軍航空隊が前年の真珠湾攻撃などで華々しく活躍、それを意気を感じた有為な若者が多数応募した。

募兵を目的とするポスターの製作は日中戦争開戦(1937年)後頻発する。それまでは徴兵検査(陸軍省)と定期採用(海軍)とで人材を確保

昭和二十一年度採用 海軍志願兵徴募



1945年(海軍省)

このポスターは敗戦直前の6、7月にかけて世に出されたと推量されるが、比較的戦局を正確に把握していた海軍省でさえ、1946年以降も戦争の続行を考えていたことを示しており、始めてしまった戦争を終結させることが、いかに難しいかを物語っている。

していたが、戦争が本格化すると特に航空兵が重視され、両省間で人材の獲得合戦が起った。

戦時プロパガンダポスターの紹介

戦時プロパガンダポスターとは国や都道府県などが作り、市町村から自治会、学校などに配られた。確認されているだけでも全国で約1500種類。1種類につき万単位で刷られ、多いものでは60万枚も配布さ

れた例がある。田島奈都子氏(青梅市立美術館学芸員)は「町内の掲示板を見て、駅で見て、学校で見て...と至る所に貼つてあるという状態だった。これだけ見せられれば、誰でも洗脳されてしまう」と解説する。

物資の供出呼びかけ

奉公米に感謝して
一層節米致しましょう



1940年(長野県)

大陸での戦争の長期化は農村からも兵隊として出征する若者を増加させ、農業人口の減少が生産力の低下を助長し、主食となる米の生産が減少する悪循環を生んだ。政府は都市部の市民に節米運動を働きかけ、農村に対しては奉公供米運動を行い、備蓄米や余剰米を供出させた。

産めよ! 増やせよ!

強く育てよ
御国のために



1939年(厚生省体力局)

1939年、厚生省は全国の生後一カ月から一年二月までの赤ん坊に対して、毎年国費で健康診断を実施する施策を打ち出した。これは将来、祖国を守る兵隊さんや日本の母となるべき、国策赤ちゃんが健全に生育しているかどうかを調査するためのもので、診断結果が記入された用紙は保護者に配布されたほか、市区町村に保管され、これに基づく育児指導が行われた。

両陛下、長野県・阿智村へ

満蒙開拓平和記念館訪問

天皇、皇后両陛下は昨年11月18日、私的な旅行で長野県・阿智村にある満蒙開拓記念館（河原進館長）を訪れ、館の語り部を務める旧満州からの引き揚げ者3人と懇談した。

長野県は全国で最も多い3万7千859人を満蒙開拓（義勇隊員を含む）に送り出した。2位は山形県（約1万7千177人）、3位は熊本県（1万2千680人）。



▲旧満州からの引き揚げ者と懇談される天皇、皇后両陛下

両陛下はこれまでも長野・軽井沢、栃木・那須の静養先からたびたび同村などに足を運び引き揚げ者と会ってきたが、記念館（2013年4月開館）訪問は初めて。

ご案内役の寺沢秀文・副館長兼専務理事は「両陛下は国策で渡った農業移民の悲惨な歴史をよくご存じで、熱心に質問されながら展示資料をご覧になった」と話した。

「ご苦労なされたのですねと声をかけていただき、涙が出るほどうれしかったです」と桜井こうさん（92歳）。「『平和のために、多くの方に経験を伝えて』と言われ、もう少し頑張ろうと元気が出た」と久保田諫さん（86歳）。「幸せな機会を得られたのも、3年前に完成した記念館があればこそです」と湯沢政一さん（86歳）。河原館長は「訪問先を選んでくださり、感無量です。記念館活動への励みになりました」と語った。



▲展示を見る
天皇、皇后両陛下



◀到着された
天皇、皇后両陛下

＝写真提供・長野県＝

チラリ
拝見!

よその博物館

満蒙開拓平和記念館（長野県阿智村）

戦中、戦後の満蒙開拓団の苦難の歴史を伝えようと2013年（平成25年）4月に開館した民間施設。日中交流に取り組む有志を中心に2006年（平成18年）ごろ構想が具体化、村有地の提供、県内外からの寄付などで資金難を乗り越え、約7年がかりで開館にこぎ着けた。総事業費1億3千万円。



ふんだんに木材を使った平屋の建物
この地域の民家独特の蚕室づくりを伝える

寄付者名簿に作家澤地久枝さんの名も。昨年11月に入館者10万人を記録した。「残留孤児の父」と呼ばれた山本慈昭さん（1990年没）は阿智村出身の名誉村民。

館内に展示された1枚の移民募集ポスターの檄文（げきぶん）がこの館の特色と存在の重さを如実に物語る。

拓務省 満州農業移民募集
開け満蒙！ 行け満州へ！

資格

33才以下（徴兵検査未了の者を除く）にして身体強壯の者

政府の補助

1戸に付10000円

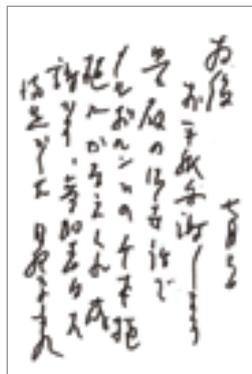
その他諸種の便宜あり

満州移住協会



駐車場には団体見学のバスも

**原寛理事長らの植樹
豪大陸で大きく育つ
11年目迎えたユーカリパーティ
メルボルン**



「メルボルン植樹」運動を称える日野原先生の礼状
当館職員宛て

右側は原理事長

6月25日の日曜日、豪州・メルボルン郊外にあるラトロップ大学のワイルドドライブ・サンクチュアリーに在留日本人の家族連れ、大学のレンジャー、地元有志ら多数が集まり、毎年恒例の植樹とBBQのユーカリ・パーティを開いた。写真は植樹記念碑を囲む参加者たち。背後は大きく伸びたユーカリ(写真提供・メルボルン新老人の会)。



植樹を終えご満悦の日野原会長

11年前の2006年秋、大干ばつに見舞われた豪州に木を植えようと、新老人の会(日野原重明会長)九州支部の原寛世話人代表(当館理事長兼館長)が全国の会員に呼びかけ、日野原会長はじめ全国の会員80人が参加して苗木200本を植えた。それ以来毎年、ワンコイン募金などで苗木購入をサポート、2010年に再び現地を訪れ、「5年計画で千本」の目標を1年早く達成した。

日野原重明さん死去 能古博物館に二度足を運んだ105歳の現役医師日野原重明さんが7月18日、呼吸不全で亡くなった。

新老人の会会長の日野原さんは13年前の『全国支部世話人会』(2004年9月)と8年前の『命の授業』(2009年2月)で当館を訪れた。

『命の授業』では能古小学校の児童、保護者ら70人余が校歌で日野原さんを迎えた。日野原さんは子どもたちに心臓の鼓動を聴くようにと聴診器を取り出し、耳に当てさせた。「ほら、音が聞こえるでしょう。生きている証拠です。君たちの生命はお父さん、お母さんからいただいた大切なものです。自分をいつまでも大切にしてください」。

最後は有名な童話「星の王子さま」(サン・テグジュペリ)の一節で締めくくった。「本当に大切なものは目に見えないんだよ」。

当館では会場になった「研修室」の名称を「日野原ホール」に変え、百歳記念の大きな肖像画(複製や著書などを飾って、功績を称えるよすがとしている)。



当館玄関前の日野原先生(中央)と館の職員ら(2009年2月14日)

主なグループ来館

(平成29年4月〜平成29年7月)

- ▼[4月]4日(火) Jicomより取材、9日(日)能古公民館歩こう会12名、16日(日)日本語学校生徒(スイスから)4名
- ▼[5月]13日(土)久留米大吉田教授と学生4名、14日(日)西区まるごと博物館推進会57名、18日(木)中央区当仁小昭和25年卒クラス会5名、27日(土)西区有住公民館13名
- ▼[6月]11日(日)能古小5名(自由研究)、14日(水)能古小5、6年生5名(島の歴史研究)、30日(金)「芙蓉会」句会5名
- ▼[7月]14日(金)能古中1年21名企画展「人・水・命」観賞、障がい者グループ16名、「古文書読み解く会」4名

新入会員の皆さん(敬称略)

「協賛個人」安松正美 「友の会」佐久間みな子、四海博司

能古博物館協賛ご寄附及び友の会(継続・新規)会員

(平成29年7月現在)

協賛ご寄附

(法人)

- 医療法人笠松会 有吉病院
医療法人社団江頭会 さくら病院
医療法人恵光会 原病院
医療法人西福岡病院
(医)博仁会福岡リハビリテーションシヨン病院
医療法人 原三信病院
社会医療法人 原土井病院
税理士法人エム・エイ・シー
西日本シティ銀行 土井支店
社団法人あおば研究所
エームサービス(株)
(株)サンコー
(株)CDS
(株)ホームケアサービス
(株)筑紫不動産
(株)メディカルアシスト青葉
(株)旭工務店
(株)アサヒホーム
(株)内藤工務店
(株)福岡サービス
(有)福岡住宅流通サービス
(株)ワイエムフーズ
浄満寺
彩苑
(株)九電工

(個人)

- 足立晴道 石野智恵子 出光道豊
出光芳秀 上崎典雄 上野道雄
柏木重人 亀井准輔 久保千春
毛戸彰 朔元則 島塚祐弘
鈴木友和 添島律子 戸井雅貴
仁保喜之 原寛 林十九楼
増田康治 翠川文字 林純
田中一光 岸恒憲 筒井勝美
安松正美 (敬称略・順不同)

友の会会員

注1 敬称略・五十音順
数字は会員歴(年数)

- 明石幸 宇都宮孝正
秋山雄治 浦田裕美
秋山直哉 江崎二郎
秋吉直雄 天宮裕樹
浅香山静四郎 合瀬久
浅香山静四郎 大石由美子
麻生芳正 大石恭仁子
荒木茂子 大島茂子
阿部文子 大智玲子
有川優子 大塚健治郎
安浦博史 大野彩子
井浦修三 小川美枝子
池田節子 小川和子
池田幾生 荻原明子
池見葉満代 奥村俊孝
石橋慶二 小倉智文
石橋延枝 小野崎徹
石橋善弘 金子柳水
石橋美弘 釜島敏子
石橋美弘 釜島敏子
泉建志 釜島敏子
伊勢幸裕 上村陽一郎
板倉修二 市丸喜一郎
市丸喜一郎 井上美子
伊藤明夫 稲葉英彦
今永透 今永透
今永透 今永透
岩城幸枝 石清水由紀子
上野聖満 上野聖満
上野聖満 上野聖満

協賛寄附のご案内

法人100万円×口数
個人100万円×口数

税制上の「寄附金控除」の対象になります。

納入方法

- 1、郵便振替え 017300960970
公益財団法人 能古博物館
2、銀行振込み
西日本シティ銀行 土井支店
普通 0551459
公益財団法人 能古博物館

友の会入会の案内

友の会会費

1000円(何口でも可)

※会費の納入方法
郵便振替
017300960970
公益財団法人 能古博物館

- (1) 振込み料は当館にて負担致します。
(2) 会費の納入確認後、会員証とコーヒーマグをお送り致します。
(3) 会員証の有効期間は1年と致します。
(4) 入館時に会員証を受付げに提示下さい。ご入館は随意で何回でも無料です。(同伴1名まで無料)
(5) コーヒーマグで挽きたてのコーヒーマグを博多湾を見ながらお飲みいただけます。
(6) 機関誌「能古博物館だより」を各年度3回(予定)、お届け致します。随想やご意見を歓迎します。但し誌面の都合で掲載を見送る場合はご容赦願います。原稿はお返し出来ません。必要なら事前にコピーをお願い致します。
(7) 館が企画する催物のご案内に参加費の割引を致します。

ようこそ博物館へ



凡例

- バスコース (能古学校前バス停から徒歩約4分)
- 徒歩コース (渡船場から徒歩約15分)
- 館内散策路
- 名所・旧跡
- お食事、みやげ物店など
- 博物館案内板
- バス停

開館日 / 毎週 金曜・土曜・日曜と祝日
 ※団体の場合は休館日にかかわらずご相談ください
開館時間 / 10:00～17:00(入館16:30まで)
入館料 / 大人400円・高校生以下無料
 ※団体20人以上2割引き
 (注) 冬季(12月下旬～2月下旬)は、展示物入れ替えなどで長期休館を原則としています。御用の場合は事前にお問い合わせ願います。

渡船場からアイランドパークへの西鉄バス時刻表(平成29年8月現在) ※博物館へは「能古学校前」で下車して下さい。

渡船場前発 アイランドパーク行	平日	07:57	08:48	09:45	10:30	11:30	12:55	13:35	14:35	15:35	16:45	
	土曜日	07:57	08:48	09:45	10:30	11:30	12:55	13:35	14:35	15:35	16:45	
	日・祝日	07:57	08:48	09:45	10:30	11:30	12:55	13:35	14:35	15:35	16:45	18:00
アイランドパーク発 渡船場前行	平日	08:23	09:20	10:03	11:13	12:28	13:18	14:18	15:18	16:18	17:28	
	土曜日	08:23	09:20	10:03	11:13	12:28	13:18	14:18	15:18	16:18	17:28	
	日・祝日	08:23	09:20	10:03	11:13	12:28	13:18	14:18	15:18	16:18	17:28	18:38

※ 繁忙期は臨時便が運行されます。

浜旅旅客待合所
までのアクセス

西鉄バス

- JR博多駅より 博多口正面Aのりば
300、301、302番「のこ渡船場行き」:約50分
- 天神より 三越前1Aのりば
300、301、302番「のこ渡船場行き」:約30分

市営地下鉄:「姪浜駅」下車乗り継ぎ

- 西鉄バス姪浜駅 北口
98番「のこ渡船場行き」:約12～20分
- タクシー:約8分

市営渡船(フェリー)

- 姪浜一能古島間:約10分

お問い合わせ

姪浜旅客待合所
TEL 092-881-8709

能古旅客待合所
TEL 092-881-0900

能古・姪浜航路 時刻表

能古 発				姪の浜 発							
	8	10:00	16	17:30		8	10:15	16	17:45		
1	◎05:00	9	11:00	17	18:00	1	◎05:15	9	11:15	17	18:15
2	06:00	10	12:00	18	18:30	2	06:15	10	12:15	18	18:45
3	06:30	11	13:00	19	19:30	3	06:45	11	13:15	19	19:45
4	07:00	12	14:00	20	20:15	4	07:15	12	14:15	20	20:30
5	07:30	13	15:00	21	20:45	5	07:45	13	15:15	21	21:00
6	08:00	14	16:00	22	21:45	6	08:15	14	16:15	22	22:00
7	09:00	15	17:00	23	◎22:45	7	09:15	15	17:15	23	◎23:00

※ 繁忙期はフェリー臨時便が運航され、島内バスの臨時便と接続します。 ◎印は日祝日運休 平成29年7月現在